

令和4年度 学び舎ひまわり 第2講 開催報告

日時 令和4年10月1日(土) 9:30 ~ 12:30
会場 区役所6階 603号会議室、港南中学校
受講生 18名(地域11名、企業2名、区役所5名)

プログラム内容

笹下連合主催『ささげ祭り』について荻久保連合会長からお話を伺った後、現地で実際の様子を見学しました。見学後は2グループに分かれて各人の感想を共有しました。

【ささげ祭りについて】

笹下地区では、以前は体育祭と夏祭りを別々に開催していましたが、行事が多すぎるとの声が出たため、まとめて一つの行事にしたのが「ささげ祭り」の成り立ちです。

その後も参加者の年代の変化に合わせて体育祭の種目を変更したり、「長時間の活動は大変」との意見が出たため開催時間を短くしたりと、毎年内容を変更してきました。

一番の工夫は、各学校のブラスバンド部に演奏披露の場を提供し、私達も楽しめるようにしたことです。

この2年間は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できませんでしたが、やっと今年



荻久保連合会長

になり、感染対策をしながら開催することになりました。感染対策として、マスクや消毒などの他に、綱引きなどは素手で触らないよう軍手を用意したり、風船割りの風船は口で吹くのではなく自転車用の空気入れで膨らませるなどの工夫をしています。

学校の太鼓演奏と、近隣病院の協力による健康チェックも取り入れました。毎年同じことをしても飽きるのので、何か新しいことができないかと考えています。

開催内容については、実行委員会で意見がまとまるまで真剣に議論します。今年はコロナ対策でおおいに議論しました。

【質疑応答】(抜粋)

・病院の健康チェックは、どういう経緯で実現したのでしょうか

→病院からボランティアをしたいとの申し出があり、まずケアプラザに相談しました。その後、ケアプラザと病院の協力により、実現しました。

・開催にあたり、参加人数は絞りましたか

→来場者数は制限していませんが、種目を半分以下に減らし、時間も午前中だけに短縮しました。



・「ささげ祭り」はどんな目的で開催していますか？

→笹下地区は若い世代も多いため、子どもを対象としたイベントで、みんなで楽しむことを目的にしています。

・開催する上で大切にしていることは何ですか？

→参加を強制せず、行事が楽しいと思う人が集まって、「ああ楽しかった」で終わることが大切だと思っています。



ささげ祭りの様子

学びのまとめ 集計結果

回答数 18件 / 回収率 100%

満足	やや満足	やや不満	不満	回答なし
18	0	0	0	0
100%	0%	0%	0%	0%

【受講生の声】（抜粋）



見学後、2グループに分かれて振り返り

◎素晴らしい内容だったと思います。競技も工夫されていて、年齢、性別を問わず参加でき、楽しめるものになっていたところが素晴らしいと思いました。

◎自分の連合の行事も、来年は何とかできるようにしたいです。

◎「毎年同じことはやらない、やるのが当たり前ではなく、何をやったら楽しいかを考えて決め

る」という言葉に気づきがありました。堅苦しい課題を与えるのではなく、見学する中で各々が感じることを学ぶことの大切さを感じました。

◎自分たちが楽しいことをやるというスタンスに共感できたし、それがあからこれだけの人を巻き込んでいると感じました。

◎見学で一番印象に残ったのは、各町内会お揃いのTシャツです。「ささげ祭り」が地域の一体感を育む鍵になっていると感じました。

◎和太鼓などの伝統芸能を呼ぶのは良い企画だと思います。発表の場を提供するのが大人の大事な役割だと思います。

◎このようなお祭りができるようになり良かった。まだコロナ禍で不安に思っている人もいますが、話し合っ

て続けていくことが大事だと思います。（企業）
◎地元企業を巻き込んでみてはいかがでしょうか。資金面や企画など協力を求めてみてはどうかと思います。（企業）



健康チェックも体験

